



報告書 概要編

平成30年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成 モデル事業
0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業

一般社団法人チカク
2019年3月31日

目次

・ママぱれっとの視点	1
・WAM助成 事業概要	2
・ゼロからはじまっている	3
・ママぱれっとの組み立て	8
・チラシ(表・裏)	9
・「0歳さんの日」「アラ40ママのひろば」の取り組みから	11
・「赤ちゃんとおぼろ」の取り組みから	14
・「子リスのひろば」の取り組みから	15
・ママぱれっとの9ヶ月	17
・講座参加者人数まとめ	18



ママぱれっとの視点。

この事業は、平成30年度 独立行政法人福祉医療機構 (WAM) 社会福祉振興助成 モデル事業として助成を受け、学童期以降の「生きづらさ」につながる「育ちにくさ・育てにくさ」の解消および軽減を目的に、3歳児以下、特に0歳児の発達課題を丁寧にみる「親子の居場所づくり」を行うために、一般社団法人チカクが企画運営にあたりました。

障がいのあるなしにかかわらず、はじめての赤ちゃんとの暮らしで余裕のないママたちに伴走し、勇気づけ、応援していくために、現場の支援者自身が0歳児の心と体の発達に「視点」が持てるよう、専門職と一緒にさまざまな側面からともに学び、親子に寄り添いながら生活圏でネットワークを形成するため、次の二つの事業を行いました。

<事業A> 親子に寄り添いながら、支援者もいっしょに乳幼児の発達支援を学ぶ「ママと赤ちゃんの居場所」

<事業B> 子育て支援にかかわる専門職・支援者向けスキルアップ研修およびネットワーク会議

先進的な事例に取り組む講師・アドバイザーを全国各地から招いた<事業B>では、県内外の支援者、育休中の専門職・支援者が学び、相互にネットワークを深めました。<事業A>では、準備も含めて1年間、この事業のためにご尽力いただいたアドバイザーのお二人に学び、スタッフ自身がそれぞれの役割・立ち位置を調整しながら、よりよい環境を作り出すことに努めました。

7月の豪雨災害による影響もあり出足は遅れましたが、同時期に開催されていたいくつかの事業にスタッフを派遣、事業ABのプログラムを補完する<連携講座>ととらえました。

以上の事業について概要は、次ページの一覧にまとめました。この冊子は、私たちがこの事業に至った道筋と想いを、あまり子育て支援に関心なかった人とお話するときに、参考にしていただく資料として作りました。十分なものとは言えませんが、生まれたばかりの赤ちゃんとその保護者を取り巻く環境が、もっと優しいものになる助けになることを願っています。

事業全体の詳細は、巻末のQRコードからPDFファイルでダウンロードいただくことが可能です。

2019年3月31日

一般社団法人チカク 代表理事 赤木美子
ekinotikaku@gmail.com



一般社団法人チカクは、未来に先送りされる社会の課題を少しでも軽減することを目的に、子どもと子育て支援に関わるさまざまなプログラムを、年間を通じて行っています。 ©TIKAKU

WAM助成事業A		開催頻度	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ママぱれっと ママと赤ちゃんの居場所 【プログラム】午前は、日程によって狙い・対象を変え要予約とした。 【ノンプログラム】同日の午後は毎回、予約不要のひろばとした。 【ランチタイム】12時-13時は、同じ会場で、支援者、弁当を持参した参加者ともに昼食を楽しんだ。 【配置】常駐する専門職は、狙いによって助産師、作業療法士のどちらかを置き、保育士を1~2名、記録・ファンリテーション担当として支援経験のある1~2名、あわせて、毎回3~5名の支援者を置いた。 【プログラム構成】10:00>受付、歓談 ▶ 10:15>手遊び、アイスブレイク ▶ 10:25>グループワーク(自己紹介、支援者も入ってグループでの悩み相談など) ▶ 11:10>専門職から全体にお話し、意見交換 ▶ 11:30>アンケート、情報提供、手遊びなど。	0歳さんの日 10時-12時《要申込》 対象 0歳 助産師:村口裕美	赤ちゃんとの暮らし、離乳食、排泄、睡眠など、なんでも、ベテラン助産師・村口先生に聞いてみよう。さまざまな年齢の子のママたちとお話するのも、とても楽しい。赤ちゃんのママにおすすめの時間です。 ★狙い 0歳児の育児【暮らし】の立ち上がり支援。	24	21	26	24	21	13	23	20	6
	赤ちゃんと遊ぼう 10時-12時《要申込》 対象 0-1歳 作業療法士:引野里絵	日々の遊びは赤ちゃんの発達にとっても大切。でも、赤ちゃんとの遊び方がわからないママも多いのです。乳幼児の発達に詳しい作業療法士・引野先生に、おうちでできる遊びのアイデアを学びましょう! ★狙い 0-1歳児の育児【遊び】の立ち上がり支援。	27	31	19	18	29	12	31	28	14
	子リスのひろば 10時-12時《要申込》 対象 2-3歳 作業療法士:引野里絵	お友だちと仲良くできなかつたり、言うことを聞かなくて叱ってしまうけど、あとで後悔することってありませんか? お子さんにあったかわり方、一緒に考えてみましょう! ★狙い 2-3歳の気軽なプレ療育・発達の悩み相談。			20	17	28		30	27	13
	アラ40ママのひろば 10時-12時《要申込》 対象 0-3歳、プレママ可 助産師:村口裕美	日ごろ言えない悩みも同年代なら言えるし、気持ちもわかると思います。40歳前後で出産・子育てをしているママ限定のひろばです。くらんまこと村口先生との相談も。 ★狙い 0-3歳児を養育中の40代のママ、プレママの悩み相談。	31	28		25	22		24	21	
	ぱれっとひろば 12時-15時《申込不要》 対象 0-3歳、プレママ可	ひとりで子育てに疲れてしまう前に、お子さんと一緒に息抜きに来てね。自由にお話したり、遊んだり…。保育士や専門職が常駐します。いつ来ていてもいい帰ってもOK! ★狙い 午前中に引き続き、支援者のいる気軽な相談支援の居場所。	24,27,31	21,28,31	19,20,26	17,18,24,25	21,22,28,29	12,13	23,24,30,31	20,21,27,28	6,13,14

WAM助成事業B		開催頻度	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
支援者のためのブラッシュアップ講座 【位置づけ】専門職や支援者向けスキルアップ研修およびネットワーク会議。研修にはママぱれっとに参加した、育休中の専門職も多く参加した。 【全体の構成】子育てや発達支援の最前線を学ぶだけでなく、情報共有の仕方、コミュニケーション能力の向上にも目配りして、組み立てている。 【被災地支援】7月の豪雨災害を受け計画が遅れ、災地の支援者の利便性を図るために会場を倉敷駅前に変更した。(発災1週間後の7月14日より8月末まで真備の公民館分館を借りて開設された、0-3歳児の臨時託児室の支援を、WAM事業とは別に行った。) 【連携講座】当初このWAM事業で企画したが他団体と重なる企画であったものや、受入団体の都合で企画が変更になったものは、以下の連携講座として、スタッフ派遣・交流を行った。	つづきの絵本屋			9/12							
	都築 照代 さん	えほんの読みかた									
	アドラー心理学、楽育						11/7				
	山口 育子 さん	アドラー心理学に基づく“楽育”の子育て支援									
	シェルハブ・メソッド						11/14				
	高尾 明子 さん	こどもの心を動かす体のレッスン									
	身体調和支援							12/9			
	町村 純子 さん	生後2カ月からの発達支援 長野原町の乳児発達支援事業が始まった理由									
	遠野の子守歌									2/13	
	木津 陽子 さん	こころとからだを育む語りかけ、あやし方 遠野のわらべうたに学ぶ									
	グラフィックレコーディング									2/16	
	玉有 朋子 さん	ファシリテーショングラフィック技能修得セミナー									
	作業療法士連携										3/1
山口 清明 さん	学童期のこどもの様子から0歳児の発達支援を考える										
ママぱれっとの視点(ネットワーク会議)										3/1	
村口 裕美 さん 引野 里絵 さん	障がいの有無にとられない乳幼児期からできる支援とは?										

連携講座		開催頻度	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎から学ぶ乳幼児の感覚遊びセミナー 備前県民局協働による地域づくり事業	連携先	×			9/24						
	岡山県学童保育連絡協議会	豪雨災害のため順延			研修						
発達につまづきのある子を読み取る眼を養う 「基礎感覚の理解・触覚編」触覚防災反応のメカニズムとアプローチ、ケーススタディ	実施団体			8/19							
	岡山 宇佐川研(発達障害臨床研究会)	上記を補うため参加		研究会							
防災・減災教育勉強会 西日本豪雨発災後の命を守る防災	連携先			8/30							
	子ども防災ネットワークおかやま	豪雨災害を受け急遽開催		勉強会							
障がい児の保護者の居場所づくり ノウハウ移転事業 高梁川流域地域づくり連携推進事業	連携先		7/12						1/29	2/22	
	NPO法人ベアレント・サポートすてっぴ	スタッフ研修と実習	スタッフ研修と実習						地域啓発講演会	ふうの実カフェ開催	

ママぱれっとの視点

ゼロからはじまる。こころ。

最初が肝心。
 そう言いながら、**ヒト**としてのスタートアップ
 つまり**0歳児**を育てることの
 様々な課題に**社会は無関心**だったと思うのです。

考えてみて ください

最初の一年にすべきこと

あなたが経営者や事業の責任者なら
はじめて世に送り出した商品・サービスを
そのまましておかないと思うのです。

特に最初の一年、目をかけ、声をかけ、
周辺に働きかけて、
より社会に受け入れてもらえるように
手を尽くすはず。

ヒトにおける**0歳**はそんな時期なのです。



課題になる前に支援する

少子化、学級崩壊、ひきこもり、
孤立化するパラサイトシングル…。

うちの子は大丈夫という考えは通用しません。

育つ環境、障がいのあるなしにかかわらず、
課題が目についてから支援するのではなく
課題になる前に親子を社会が支える。

そのベストなタイミングが**0歳児**なのです。

社会における 初期投資

便利になって カラダが 変わる

子どもを身近に 見ることが 育てず 難しく

医療と福祉の はざま

様子をみましよう、の一言で、不安のまま取り残されるママたち。
子育て、つらい、楽しくない…よね。
少子化を止めようと思うなら、
0歳とママの普通の暮らしから、
意識して、ていねいに支える必要があると思うのです。
その小さな一歩として、
私たちの活動、「ママぱれっと」がはじまりました。

進化か、 退化か、 進化なのか

便利になったのはいいけれど…。
ヒトが体を使う場面がどんどん減っていく。
使わない機能は衰えていくんですね。
**体が作られることで、
心と脳が育つ、**
そんな環境を大人が真剣に考えないと。
もっとゆっくり、しっかり、体の機能を味わう
0歳児があつていいはずなのです。
その先の人生で、
持てる力を十分に発揮できるように。

ママぱれっとの組み立て

ターゲットを意識してプログラムを分ける

0歳さんの日

0歳児とその保護者が対象。赤ちゃんとの暮らしに不安があったり、安心して外に出ることができる環境を求めている。子どもをつれて初めて戸外に出る人も。子育ての日々の中での、「驚きと発見」「不安と悩み」を誰かと共有したい。

赤ちゃんとおぼろ

0-1歳児とその保護者が対象。在宅で子どもを遊ばせていて募る不安。間が持たないというお悩みも。さまざまな月齢の赤ちゃんとそのママが一堂に会することで、悩んでいるのは自分だけじゃないと安心したり勇気づけられたりしそう。

アラ40ママのひろば

40代前後で出産したママと、0-3歳児が対象。プレママも大歓迎。職歴が長かったり、県外からの流入者なども多く、地域とのつながりが薄い傾向も。体の悩みや、これからの人生について、なんて、初対面では話しづらい深い視点も持っている。

子リスのひろば

育てづらい、育てづらい…ということに気づかないほど、日々の育児に疲れている、2-3歳児を養育する保護者が対象。障がいのあるなしで振り分けるのではなく、それぞれの困り感を聞き、日々、自らが行える手当てや視点の持ち方を一緒に考える場。

プログラムとノンプログラムの時間を設ける

- プログラムは午前中の2時間。あらかじめ予約をした8組から12組程度を対象とし、専門職として、助産師あるいは作業療法士、それに毎回保育士が加わった。
- 午後からは、予約不要のひろば。午前中と同じ専門職、スタッフが場を支えた。グループワークや講話のあるプログラムだけではなく、ノンプログラムの時間を設けることで、リピーターや子どもの様子に合わせて参加しやすい環境を整えた。

ターゲットの同質性による安心感

- 同質な親子が集まっていて安心感があり、学びの部分が強調されていたためか、産休・育休中の専門職が多く感じられた。こうした専門職がそれぞれの職場に帰るときに、子育て支援の今について新たな知見を得て、対応を知っておくことは、プラスに働くだらうという配慮から、研修にも積極的に誘導していった。

平成30年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成 モデル事業



ママと赤ちゃんの居場所

赤ちゃんとの暮らし、
いっしょに考えてみませんか？

ベテラン助産師・人気の作業療法士など、
専門職と一緒に、ゆっくり、のんびり、
ママと赤ちゃんに寄り添う「居場所」です。

2018年7月～2019年3月に、月2～4回、
岡山市や、早島町の会場で予定しています。
午前中は、申し込みが必要なプログラム、
午後からは自由に参加できる「居場所」です。

「ママぱれっと」について

「ママぱれっと」は、対象になる赤ちゃんやお母さんによって、プログラムがわかれています。

午前10～12時 要申込	0歳さんの日 対象：0歳児	赤ちゃんとおぼろ 対象：0～1歳児	アラ40ママのひろば 対象：0～3歳児 ★プレママ可	子リスのひろば 対象：2～3歳児 ※9月スタート
午後12～15時 申込不要	ぱれっとひろば 対象：0～3歳児 ★プレママ可			

午前のプログラムの申込方法は、裏面の **参加方法** をご覧ください。
参加無料。初回のみ登録料500円が必要です。
「ママぱれっと」のホームページでもご確認ください。
ホームページ <http://www.mamapalette.kokage.cc>

【お問い合わせ】ちゃっこひろば(平日9:30～15:00)
(TEL) 070-5050-7730 / (Email) ekinotikaku@gmail.com

**参加
無料**

平成30年度 社会福祉振興助成 モデル事業「0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業」について
この事業は、学童期以降の「生きづらさ」につながる「育ちにくさ・育てにくさ」の解消および軽減を目的に、3歳児以下、特に0歳児の発達を丁寧に見る「親子の居場所づくり」を行う事業です。0歳児の心と体の発達に視点が持てるよう、専門職と地域の支援者がさまざまな側面からともに学び、地域にネットワークを形成するため、「親子に寄り添いながら、支援者もいっしょに乳幼児の発達支援を学ぶ居場所づくり」と「子育て支援にかかわる専門職・支援者向けスキルアップ研修およびネットワーク会議」を行います。

|アドバイザー・講師|
居場所 | 村口裕美(助産師・保健師・看護師)、引野里絵(作業療法士)、安藤希代子(ピアサポート団体代表)ほか
研 修 | 町村純子(身体調和支援)、山口育子(楽育セミナー)、玉有朋子(ファシリテーショングラフィック)ほか

|主催| 一般社団法人チカク | 後援| 岡山県教育委員会 岡山市 早島町 倉敷市

期間中、チラシを3回、岡山市・早島町・倉敷市の公民館、児童館、保健所、地域子育て支援拠点などに配布したほか、ネットでも情報提供を行った。地元FM局および新聞社にとりあげられている。

7~8月 | 会場 | ぐらしのたね (岡山市北区辰巳14-1 ミナモト建築工房1階)
9~3月 | 会場 | いかしの舎 (岡山県都窪郡早島町早島1466)



2018年						2019年			午前 (10時~12時)	午後 (12時~15時)
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
24 (火)	21 (火)	26 (水)	24 (水)	21 (水)	13 (木)	23 (水)	20 (水)	6 (水)	0歳さんの日	ぱれっとひろば
27 (金)	31 (金)	19 (水)	18 (木)	29 (木)	12 (水)	31 (木)	28 (木)	14 (木)	赤ちゃんと遊ぼう	
31 (火)	28 (火)		25 (木)	22 (木)		24 (木)	21 (木)		アラ40ママのひろば	
		20 (木)	17 (水)	28 (水)		30 (水)	27 (水)	13 (水)	子リスのひろば	

申込
不要

ぱれっとひろば 12時~15時

◆開催日程の12時~15時に毎回開催

子育てに疲れてしまう前に、お子さんと一緒に息抜きに来てね。
自由にお話したり、遊んだり…。12時~13時は、一緒にランチもOK!
※専門職の先生との個別相談(有料)をご希望の場合は、事前にご相談ください。

対象：0~3歳児まで / プレママも可

※午前は日によって以下のプログラムを実施しています。同じ日の午後は、毎回「ぱれっとひろば」です。各プログラムの開催日は、上の表でご確認ください。

いつ来ても
いつ帰っても
OK!



0歳さんの日

赤ちゃんとの暮らし、離乳食、排泄、睡眠など、なんでも、ベテラン助産師さんに聞いてみよう。さまざまな年齢の子と遊んだり、お話したり。お話するのが苦手でもスタッフがサポートするから大丈夫。赤ちゃんのママにおすすめです。

対象：0歳児 / 定員12組程度
助産師：村口裕美先生

要申込

赤ちゃんと遊ぼう

日々の遊びは赤ちゃんの発達にとっても大切。でも、赤ちゃんとの遊び方がわからなくて困っているママも多いです。乳幼児の発達に詳しい作業療法士・引野先生に、おうちでできる遊びのアイデアを学びましょう!

対象：0~1歳児まで / 定員10組程度
作業療法士：引野里絵先生

要申込

アラ40ママのひろば

日ごろ言えない悩みも同年代なら言えるし、気持ちもわかると思います。40歳前後で出産・子育てをしているママとお子さん限定のひろばです。ぐらんまこと村口先生との相談も。

対象：0~3歳児まで / 定員12組程度
助産師：村口裕美先生

要申込

子リスのひろば

お友だちと仲良くできなかったり、言うことを聞かなくて叱ってしまって、後悔することってありませんか? お子さんとのかわり方を、作業療法士の引野先生と考えてみましょう!

対象：2~3歳児まで / 定員8組程度
作業療法士：引野里絵先生

要申込

参加方法 午後の「ぱれっとひろば」は、申込不要、いつ来てもいつ帰ってもOKです。自由にご参加ください。午前の「0歳さんの日」「赤ちゃんと遊ぼう」「アラ40ママ」「子リスのひろば」は、定員があり、人数の把握とお子さんの年齢の確認のため、事前に右の①~⑥の内容を、電話かEmailでお知らせください。定員になり次第、受付を締め切ります。

TEL: 070-5050-7730 ちゃやっこひろば(平日9:30~15:00)
Email: ekinotikaku@gmail.com

参加無料 ※初回のみ登録料500円が必要です。

主催 | 一般社団法人チカク

- ① お母さんのお名前
- ② お子さんのお名前と読み仮名
- ③ お子さんの生年月日
- ④ お住いの地域(北区辰巳など)
- ⑤ 平日の日中に連絡のつく電話番号
- ⑥ 希望の日付とプログラム名

「0歳さんの日」「アラ40ママのひろば」の取り組みから
アドバイザー：村口 裕美

早期母子支援の実際と考察

母親の不安を取り除くことで

我が子を強く信頼できるようになる、という仮説を立て「程よい距離からの支援」とは何かを助産師として考えていく

母子相互作用

- 母乳とミルクの与え方(抱っこ)
- 吸啜力と離乳食との関係(発達の道筋)
- 排泄とおむつの関係(快・不快)
- 成長(身長・体重・頭囲)
- 生活リズムと睡眠(生命維持機能)
- 発達(月齢に合わせた運動発達と脳)と遊び

乳児の発達支援って何だろう?

生まれてからの母たちの困りごとの1位は「泣く」ことへの対処である。相互作用を紐解きながら、支援者が乳児期の発達支援を考える時、発達に問題を抱えたお子さんの多くは「泣く」がキーワードだと気づかれるだろう。そして、そのようなお子さんはいつも**身体と心が緊張し**、表情の乏しい顔で母に抱かれ、母もまた、疲労困憊しているのである。

- 胎児期からの味覚のつながりを伝える
羊水を飲み ▶ 母乳を飲み ▶ 離乳食を食べる ▶ 一人で食べる
- 胎児期からの生活のつながりを伝える
母の睡眠 ▶ 昼夜の様子 ▶ 昼夜の区別 ▶ 自分で寝て自分で起きる
- 胎児期からできる脳のつながりを伝える
母の手の役割 ▶ 一人で握る・つまむ ▶ 心で思ったように自分の手を動かす
- 胎児期からの五感を基礎に子宮外生活での発達を伝える
触覚・味覚・聴覚・視覚・嗅覚

「0歳さんの日」「アラ40ママのひろば」の取り組みから

ふりかえり

0歳さんの日

- 乳児期前半のお子さんが多く、身体的発達の様子を見ながら、親子のふれあい（母子相互作用）心の育ちがあることを伝えることができた。
- 1歳までに必要なおもちゃ、遊具の伝達はほとんど毎回、場面を通しながら行うことが出来た。若いお母さんは「やると得する」と思われることは、質問されてきた。しかし、育児で大切な（朝を感じさせる感覚、近所付き合いなど）生活の基本を伝えることは難しかった。
- プレママが参加の日、胎教真っ盛り（妊娠8ヶ月）の時期に赤ちゃん達とふれあい、先輩ママ達とのグループでの話し合いは予想以上に盛り上がりがあった。このような交流を多く持つことで出産経験者は命を愛することを再確認できた。プレママは、胎教のレッスンができると思われる。
- ★ 多職種で見られるといいかもしれない事例が目立った。（非対称の身体、未完成のずり這い、母親から離れない、等、脳の感覚の統合が関わってくること）

アラ40ママのひろば

- アラ40だから努力をされているのだな、と感じる場面が多かった。がんばり過ぎず、型にはめた育児にならないように自らが楽しみ、子どもの様子を観察することができ、余裕で過ごせる育児時間の過ごし方の提案を行った。
- 育てにくいと感じている赤ちゃん達のほとんどが、運動発達が標準的でなかった。今起きている問題は、子どもの成長・発達において線上の「点」であることを踏まえ、関わり方の実践に徹した。
- 熱心な母親性が感じられた。生活の場・家族で実践できる育児の楽しさに気づくよう伝えることが目的であり、専門職としての正しい知識を土台に「さりげなく」を心がけた。
- 早産で出生の2ヶ月児。赤ちゃんの扱い方が不安定。時間をかけながら赤ちゃんの扱い方を伝え、実践した。

母親の不安を取り除くことで

我が子を強く信頼できるようになる

考察

- 子どもと過ごすための知識不足なのではないかと考え、我が子の観察を一緒に行い個々に合わせた「関わり方」を実践でき、半数以上の母親が「やってみたい」と答えている。
- ママ同士の語らいができており、スタッフの配慮力を含め良い人的環境と思った。「人は人の間で人となる」の言葉通り、リピーターの母親からの応援も育ち、笑顔も多くみられてきた。赤ちゃん達も穏やか、母から離れて遊んでいた。
- 生後4ヶ月児二人。寝かせつけ・遊び方、向き癖の対応についての質問に答えバランスボール、授乳方法、母親と一緒に日常のかかわりの実践をした。発達を支援するということよりは多面的支援が必要である。個人の研鑽も必要であり、多職種との連携は言うまでもない。

課題

- 目を合わせていない赤ちゃん達が目立つ **個別・継続の必要性**
→ 正中線指向、両肘支持姿勢、ボトムリフティング・エアプレーン姿勢についてわかりやすく説明しながら実践との関わり方を伝えた。
- 離乳食(中期～後期)を食べてくれないと悩むママ **実際に共有できる場の必要性**
→ 吸啜との関係、身体の動きとの関係をわかりやすく説明した。乳児期の栄養(母乳・ミルク・離乳食)について正しい理解がみられない。手と目と口との協応動作について、姿勢を含め伝えた。
- やや多動ぎみの三歳児 **子ども支援、母親支援、親子一緒に支援の必要性**
→ 一緒に考える仲間がいることを母が理解されると子どもは落ち着いて行動できる姿を見ることができた。場を乱すことはなかった。
- 早産で出生の2ヶ月児 **障害児を持つ親たちの共通の集まりの必要性**
→ 赤ちゃんの扱い方が不安定。時間をかけながら赤ちゃんの扱い方を伝え、実践した。



0歳児から同じ目線で観れる多職種との連携

「赤ちゃんと遊ぼう」の取り組みから アドバイザー：引野 里絵

お母さんたちとの関わりから見えてきたこと

- 我が子のことを細かく気にしている
- 様々な情報をキャッチしようとしている

不安や疑問が溢れ出す

- ご飯を食べすぎる（育児書や検診で言われたよりもたくさん）
- あまり食べない
- 寝るときに抱っこすると抱き癖がつく？ずっと抱っこし続けることに？
- ○○するのが、同じ月齢の子に比べて遅い
- ○○した方が良いと言われるけど、我が子はしない など

「○○したら大丈夫！」を知りたい

- □ヶ月の子にはこのおもちゃが良い
- □ヶ月の子にはこの遊びが良い など

ふりかえり

赤ちゃんと遊ぼう

- 中盤以降より「○○について相談してみよう」ということも一つの目的として参加される方が増えた。
- 前回からの変化、成長を報告してくださるお母さんも増えた。
- 作業療法士や保育士という専門的な立場のスタッフがいることに加え、お母さん同士で子育てについて話すことで、「うちの子だけではなかった」「私だけではない」という安心感が、お母さんの前向きさに繋がっていると感じる。
- 保育士さんの手遊び・触れあい遊びは、気楽に取り入れやすくお母さんたちに大人気だった。

「子リスのひろば」の取り組みから アドバイザー：引野 里絵

育てにくさの「幅」が広い

- 自我の成長に伴う「イヤイヤ」への戸惑い
- 歯磨きをしている時に歩いて困る
- 危ないこと（机の上に上がる、ソファから飛び降りる）をして困る
- 2歳を過ぎるが言葉がほとんど出ない
- 保健師さんからの紹介
- 療育を受けるかどうかの迷い
- 難病のお子さんの発達と日常生活の相談

必要な視点

相反する視点

療育的なサポートの必要性
療育の必要性の有無に関わらず、
「その子」に必要なサポートや育て方は変わらない

オーダーメイドの視点

日々の中でできることを、
具体的に、その親子に合わせて

客観的な視点

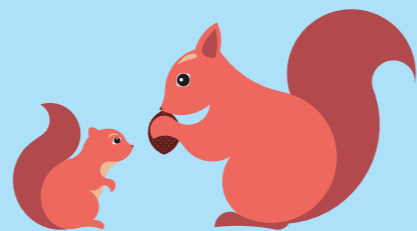
専門家自身の思考や言動に関しては特に！

「子リスのひろば」の取り組みから

ふりかえり

子リスのひろば

- 個別性の高い相談が多かったが、繰り返し参加される方も多かったため、お母さんと経過を一緒に確認できたので良かった。
- 年齢が2-3歳児と、動きが大きくなる年齢のため、ダイナミックに遊ぶことも多く、マットや遊具が大いに役立った。
- 子どもたちが、しっかり遊び込む様子をお母さんが見て「嬉しかった」という反応もあったが、それは一方で通常はその様な姿が見られにくい、ということであったり、動きの大きいお子さんを連れて遊ばせる場所が少ない（周囲に配慮して）という、日々活用できる資源の少なさに苦労しておられる様子が伺えた。
- 多くのお母さんたちは、お子さんの状況に関わらず、「我が子」の子育てに迷い、悩み、不安、心配をしておられる。
- 経験のあるお母さんや、専門的な視点で見るとあまり気にされなくても大丈夫なことも、そのお母さんにとっては重要なことなので、気軽に話ができ、経験談が聞けたり、専門的な視点からの話により、納得されたり、安心される。
- 知識として理解されることから、日々の暮らしでの実現に繋げるために、お母さんが実行可能で、具体的な関わりをお伝えする場が「ママぱれっと」であり、その必要性が感じられた。
- 地域の遊び場や活動に参加しにくい親子が遠慮せず、気楽に遊び、過ごせる場としても、「ママぱれっと」は本当にお母さんたちの憩いの場であったと思われる。



ママぱれっとの9ヶ月

ぐらん・ま 倉敷自然育児相談所 村口 裕美

初回～2回目のママぱれっとは、母親の不安が大きく、わが子を抱っこするだけが精いっぱい。表情も硬く赤ちゃん達も母から離れることがなかなかできませんでした。

3回目になるとスタッフと私（村口）の間には、同じ支援の方向を見ているという仲間意識が生まれ、場づくりは成功していきました。そして、それはリピーターの母親達にも波及しているかに見えました。はじめて会う母親に自然と話しかけるなどの主体的な行動がみられはじめたのです。そして、赤ちゃん達は誰のところにでも、這い這いしていく姿があり、母親たちは、小さな命を介しながら、相互の作用を実践されていました。

たくさんの笑顔が見られるようになってきたのは今年に入ってからです。母と子と支援者が、互いに見えない力で支え合っており、もう一つの我が家のような空間が母親達をくつろがせ、素の自分をだされるようになり、ますます赤ちゃん達は喜んでいました。

助産師が乳児期からの日常生活の中での発達とそのつまづきをアプローチすることは、とても大切で、その「点」としての支援が保育の現場で継続されれば「線」として繋がる事が理解しあえたのです。今後、0歳児の発達を多職種で支援することの大切さを理解いただければ幸いです。

さらに、子どもの育ちを応援するという事は、親をはずしては考えられないことがわかりました。保護者支援も早期が最も功を奏すると考えられたのです。親は楽しく育児できる環境が必要です。支援者は、親子の相互作用と乳児期の成長・発達を正しくアセスメントできる事が必要と考えます。

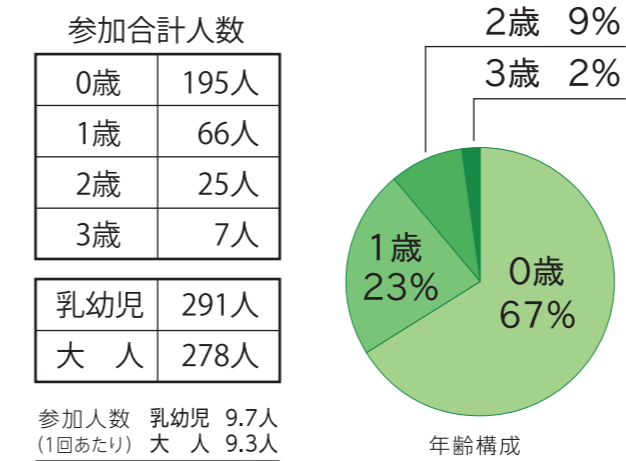
赤ちゃんは、自分の身体の動きを自由に使いこなせるようになると、運動だけでなく心のバランスや立ち直りも良くなり、気持ちのコントロールもうまく出来るようになるはずです。赤ちゃんの社会性やコミュニケーションの基礎作りはその母親の育ちを理解しながら、育児という未知の体験に直面した時こそが最も支援しやすい事を理解しました。

核家族と言われる言葉を耳にして、20年以上経過しました。日本の育児文化の継承が途絶えそうな現代において、「あれが北斗七星よ。」と母と子に指差す専門職でありたいと思いながら、今回の支援に参加させて頂きました。

参加者人数とアンケート調査満足度

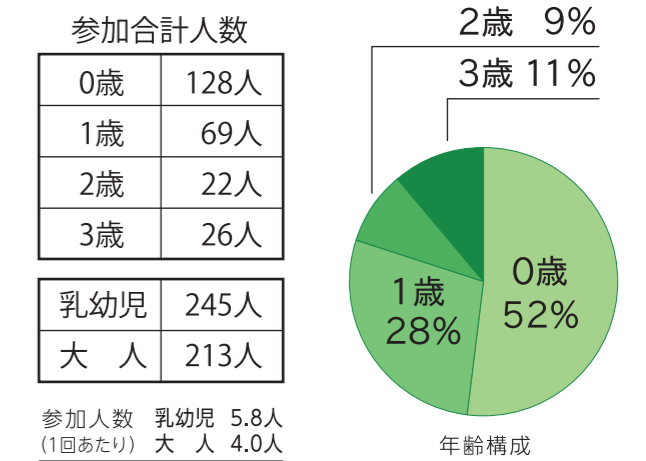
ママぱれっと(午前)	0歳さんの日													アラ40ママのひろば					赤ちゃんとお遊ぼう					子リスのひろば											
	アドバイザー 村口 裕美													アドバイザー 村口 裕美					アドバイザー 引野 里絵					アドバイザー 引野 里絵											
参加人数 (1回あたり) 乳幼児 10.6人 大人 10.2人	1歳 1% 2歳 2% 3歳 1% 0歳 96%													参加人数 (1回あたり) 乳幼児 10人 大人 9.6人	2歳 15% 3歳 3% 0歳 52% 1歳 30%					参加人数 (1回あたり) 乳幼児 11.2人 大人 11.2人	1歳 36% 0歳 64%					参加人数 (1回あたり) 乳幼児 6.1人 大人 4.5人	3歳 11% 0歳 21% 1歳 30% 2歳 38%								
	日付	7/24	8/21	9/26	10/24	11/21	12/13	1/23	2/20	3/6	参加者(計)	7/31	8/28		10/25	11/22	1/24	2/21	参加者(計)		7/27	8/31	9/19	10/18	11/29		12/12	1/31	2/28	3/14	参加者(計)	9/20	10/17	11/28	1/30
曜日	火	火	水	水	水	木	水	水	水		火	火	木	木	木	木		金	金	水	木	木	水	木	木	木	木		木	水	水	水	水	水	
0歳	5	10	11	6	11	13	12	11	12	91	3	5	6	7	5	5	31	9	14	7	7	8	9	5	1	5	65	0	0	1	2	0	5	8	
1歳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	4	6	4	0	2	18	5	2	1	4	2	5	8	5	4	36	0	2	1	2	2	4	11	
2歳	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	2	1	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	6	3	0	14	
3歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	4	
乳幼児	5	10	11	7	11	13	12	12	14	95	8	10	13	13	6	10	60	14	16	8	11	10	14	13	6	9	101	1	3	7	11	6	9	37	
大人	5	10	11	7	11	13	12	11	12	92	8	10	12	14	5	9	58	14	16	8	11	10	14	13	6	9	101	1	3	6	8	4	5	27	
満足度※	満足	-	-	10	7	10	10	10	10	12	90% (69人)	-	-	9	12	5	7	83% (33人)	-	14	8	10	7	10	10	5	7	86% (71人)	1	3	4	6	4	5	96% (23人)
	やや満足	-	-	1	0	1	3	2	1	0	10% (8人)	-	-	3	2	0	2	17% (7人)	-	2	0	1	3	2	2	1	1	14% (12人)	0	0	0	1	0	0	4% (1人)
回収率	-	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		-	-	100%	100%	100%	100%		-	100%	100%	100%	100%	86%	92%	100%	89%		100%	100%	67%	88%	100%	100%		
0歳	3	7	6	6	12	8	9	6	5	62	4	6	4	3	3	2	22	2	18	4	4	8	5	3	1	3	38	0	0	3	1	1	1	6	
1歳	1	1	0	1	2	3	3	1	4	16	1	1	4	3	1	0	10	4	3	2	2	4	7	4	5	3	34	0	1	2	1	2	3	9	
2歳	0	0	0	0	0	1	1	2	1	5	0	0	1	1	2	1	5	1	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0	4	0	3	2	9	
3歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	0	1	0	0	5	4	1	0	0	0	2	0	0	1	8	0	0	1	1	2	7	11	
乳幼児	5	8	6	7	14	12	13	9	11	85	7	9	9	8	6	3	42	11	12	6	6	13	14	7	6	8	83	0	1	10	3	8	13	35	
大人	4	8	6	7	14	12	12	7	9	79	5	8	8	7	5	2	35	8	11	6	6	12	12	7	6	7	75	0	1	7	2	5	9	24	
ぱれっとひろば(午後)	参加人数 (1回あたり) 乳幼児 9.4人 大人 8.8人													参加人数 (1回あたり) 乳幼児 7.0人 大人 5.8人					参加人数 (1回あたり) 乳幼児 9.2人 大人 8.3人					参加人数 (1回あたり) 乳幼児 5.8人 大人 4.0人											
	2歳 6% 3歳 2% 0歳 73% 1歳 19%													3歳 12% 0歳 52% 1歳 24% 2歳 12%					2歳 4% 3歳 9% 0歳 46% 1歳 41%					0歳 17% 1歳 26% 2歳 26% 3歳 31%											

● ママぱれっと (午前 10時~12時)



◆ アンケート調査
満足: 87% (196人) やや満足: 13% (28人)

● ぱれっとひろば (午後 12時~15時)



(アンケート調査 実施なし)

地域力アップ! 支援者のためのブラッシュアップ講座

講師	講座タイトル	開催日	乳幼児	大人	満足度※			参加者の職種
					満足	やや満足	回収率	
都築 照代	えほんの読みかた	9/12 (水)	0	16	14	0	88%	保育士 子育て支援員 絵本のよみかかせ支援者 など
山口 育子	アドラー心理学に基づく “楽育”の子育て支援	11/7 (水)	0	15	12	0	80%	保育士 子育て支援員 作業療法士 など
高尾 明子	こどもの心を動かす 体のレッスン	11/14 (水)	2	37	30	0	81%	保育士14名 助産師6名 子育て支援員5名 教員2名、その他(歯科衛生士/ダンス療法指導員・音楽講師/看護師/保健師/スイミングインストラクター/ダンサー/自力整体指導員/シェアハウス運営/地域おこし協力隊 など) ※託児3
町村 純子	生後2カ月からの発達支援 ～長野原町の乳児発達 支援事業が始まった理由～	12/9 (日)	7	52	43	0	83%	保育士10名 歯科衛生士9名 保健師9名 子育て支援員4名 歯科医師2名 助産師2名 看護師2名 理学療法士2名 養護教諭2名、その他(元幼稚園教諭/ママヨガ講師/学校司書/児童指導員/児童発達支援管理責任者/会社員/青少年育成委員協議会/社会福祉士 など)
木津 陽子	こころとからだを育む あやし方、語りかけ ～遠野のわらべうたに学ぶ～	2/13 (水)	6	26	19	0	73%	保育士11名 看護師2名、その他(地域子育て支援拠点責任者・子育て支援センター/子育て支援員/幼稚園教諭/タッチケア指導員/教員/社会福祉士言語聴覚士/医療系/助産師/シェルハブ・メソッド国際公認指導員 など)
玉有 朋子	ファシリテーショングラフィック 技能修得セミナー	2/16 (土)	0	33	29	1	91%	教員6名 公務員2名 会社員2名 看護師2名 子育て支援員2名 社会福祉士2名 障害者支援2名、その他(保育士/助産師/精神保健福祉士/福祉施設職員/児童館支援員/こどもセンター/放課後児童クラブ支援員/司法書士/自営業/農家/建設業/ブライダルスタイリスト など)
山口 清明	学童期のこどもの様子から 0歳児の発達支援を考える	3/1 (金)	0	22	13	1	64%	作業療法士4名 子育て支援員4名 助産師3名 保健師2名 拠点責任者2名、その他(理学療法士/歯科衛生士/保育士/学童保育/防災士/CAP/木のおもちゃ専門店主 など) ※午前中で帰られた方が数人いて回収率が低くなった。
村口 裕美 引野 里絵	障がいの有無にとられない 乳幼児期からできる支援とは?							
参加合計			15	201				

※ 満足度調査のうち回収率100%に満たないところは、満足度未記入あるいは未回収で「やや満足」未満の回答はありません

報告書は、「報告書 概要編」と「ママぱれっと 資料編」の2冊からなっています。
「ママぱれっと 資料編」は、以下のQRコードからダウンロードすることが可能です。

「ママぱれっと 資料編」 内容

- ・ママぱれっとの視点
- ・WAM助成 事業概要
- ・0歳児の発達支援に特化した地域拠点事業（事業構成について）
- ・WAM事業申請の背景／本事業は何を意図して行われたか
- ・事業A ママと赤ちゃんの居場所（内容、アンケートなど詳細）
 - 0歳さんの日
 - 赤ちゃんと遊ぼう
 - アラ40ママのひろば
 - 子リスのひろば
 - ぱれっとひろば（概要）
- ・事業B 子育て支援者のためのブラッシュアップ講座（内容、アンケートなど詳細）
 - 研修① 都築 照代さん「えほんの読み方」
 - 研修② 山口 育子さん「アドラー心理学に基づく“楽育”の子育て支援」
 - 研修③ 高尾 明子さん「こどもの心を動かす体のレッスン」
 - 研修④ 町村 純子さん「生後2ヶ月からの発達支援」
 - 研修⑤ 木津 陽子さん「遠野のわらべうたに学ぶ」
 - 研修⑥ 玉有 朋子さん「ファシリテーショングラフィック技能習得セミナー」
 - 研修⑦・報告・ネットワーク会議 山口 清明さん 引野 里絵さん 村口 裕美さん
- ・連携講座 ①②③
- ・講座参加者人数まとめ



資料編QRコード

ママぱれっと ～ママと赤ちゃんの居場所～

企画・運営 一般社団法人チカク
〒710-1101 岡山県倉敷市茶屋町269-1
電話 080-2900-8110
メールアドレス ekinotikaku@gmail.com

アドバイザー ぐらん・ま 倉敷自然育児相談所 村口 裕美
R I C S リエ・チャイルド・サポート代表 引野 里絵

ロゴ・冊子デザイン Graphicatelier 田辺 美由紀

